

「どやの」とは、福井弁で「どうですか?」「いかがですか?」という意味で、ボランティア活動などちょっと始めてみませんか?という思いが込められています。

市民活動というとむずかしく考えがちですが、どんな形でも参加し、自分たちの街をより良いところにしていくことは誰でもできます。

今回は、鯖江で音楽を通していきいきと社会参加する若者たちや、私たちと同じように、石川で市民の社会参加の窓口として活動しておられる団体を訪ねました。

音楽を通して仲間の輪を広げる

D-PROJECT

県内在住者や出身者が集まるインディーズミュージシャンのグループ「D-PROJECT」が、6枚目のCDをリリースしました。今回のテーマは「夢」。9組のミュージシャンが参加し、弾き語りやバンド演奏、インストゥルメンタルなど、さまざまな表現方法でそれぞれがイメージした思いの「夢」を描き出しています。

「D-PROJECT」は鯖江市三六町1丁目の堀井健一さんがマスターを務める喫茶店「男爵」を拠点に、堀井さんと越前町田中の吉田茂さんが中心となって6年前に結成しました。「男爵」に集まっている音楽仲間と話し合っているうちに、オムニバスアルバムを作ることになったのがきっかけです。参加メンバーは各回とも10代から50代まで幅広い世代が集まり、活動エリアも県内一円。音楽ジャンルも多彩なのが特徴です。

CDは結成以来、年1回のペースでリリースしています。第一作目のテーマは「ボイス」。その後、「パワー」「メッセージ」「ナイトストーリー」「愛」と続き、来年のテーマはすでに「ナチュラル」と決まっているそうです。

吉田さんは「ただ曲を集めてCDをつくるというのではなく、一つのテーマを設定し、それをもとに一つのCDという形をつくっていくなかで、みんなの夢が虹のように一つに集束していくんです」とオムニバスアルバムの魅力を語ってくれました。

CDは1枚500円。鯖江市内では「男爵」と、柳町4丁目の喫茶店「マロン三世」で取り扱っているそうです。



代表の吉田茂さんと堀井健一さんは映像関係でも活躍している。

幅広い活動支援でより良い地域づくりを促進しています。

i-ねっと



青海さんのあたたかな人柄も魅力でした。



(特) さばえNPOサポートの広報サポート委員会はこのほど、学習活動の一環で、石川県金沢市の中間支援NPO法人「いしかわ市民活動ネットワークセンター」(通称i-ねっと)を訪ねました。事務局長の青海康男さんから同NPOの実践を聞き、求められる中間支援の在り方やNPOと地域との関わり方などについて意見交換しました。

「i-ねっと」は1998年に設立。現在ではNPO支援だけでなく、町内会など地域コミュニティに密着した活動に力を入れているそうです。金沢市は本年度から、集合住宅でのコミュニティづくりや地域活動を後押しする「コミュニティ相談窓口」、コミュニティ形成についてアドバイスや情報を提供する「コミュニティアドバイザー」を設置。青海さんはアドバイザーとして町内会活性化を図るための工夫や対応などの相談に応じているとのこと。

“NPO支援”だけではなく、町内会など、地域の住民団体が盛り上がる仕掛けやノウハウをサポートしていくことも、市民活動交流センターの役割です。社会活動の参加への橋渡しを、より強く後押ししなくてはと感じました。

編集・お問い合わせ この回覧板は、鯖江市との共働事業で発行しています。

特定非営利活動法人 **さばえNPOサポート**
(さばえNPOセンター指定管理者)

〒916-0024 鯖江市長泉寺町1丁目9-20 鯖江市市民活動交流センター内
TEL : 0778-54-7055 FAX : 0778-54-7058
E-mail : info@sabae-npo.org



♥誰でも気軽に使える情報発信♥

鯖江市内の市民団体ならばイベントやお知らせを掲載できます。

ホームページ : <http://www.sabae-npo.org/>

